

# 河川砂防技術研究開発公募 SIP社会実装部門

## 令和5年度採択テーマ 中間評価結果 (1/2)

(中間評価1年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト ・北海道・東北ブロック	一般財団法人 河川情報センター  池内 幸司	a	・コメントなし
概要	IDR4Mを複数の自治体を含む広域的な災害にも適用できるよう、流域一体の避難に関わる災害リスク情報を生成・提供できるシステムに改良するとともに、北海道・東北ブロックの代表河川流域において実証実験を実施し、広域避難のような相互協力が求められる災害対応の円滑化に資するシステムとして社会実装する。併せて、被災事例が少ない中でも効果的に運用できる訓練モードを実装する。			
テーマ	IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト ・関東・北陸・中部ブロック	一般財団法人 河川情報センター  池内 幸司	a	・コメントなし
概要	IDR4Mを複数の自治体を含む広域的な災害にも適用できるよう、流域一体の避難に関わる災害リスク情報を生成・提供できるシステムに改良するとともに、関東・北陸・中部ブロックの代表河川流域において、多くの住民が居住する大規模な氾濫域を対象としたIDR4Mの適用性を検討するとともに、実証実験を実施し、広域避難のような相互協力が求められる災害対応の円滑化に資するシステムとして社会実装する。			
テーマ	IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト ・近畿・中国・四国ブロック	一般財団法人 河川情報センター  池内 幸司	a	・コメントなし
概要	IDR4Mを複数の自治体を含む広域的な災害にも適用できるよう、流域一体の避難に関わる災害リスク情報を生成・提供できるシステムに改良するとともに、近畿・中国・四国ブロックの代表河川流域において実証実験を実施し、広域避難のような相互協力が求められる災害対応の円滑化に資するシステムとして社会実装する。既に独自の防災システム等を導入している自治体に対し、API配信による情報提供方法について検討を行う。			
テーマ	IDR4Mの全国展開の加速化プロジェクト ・九州・沖縄ブロック	一般財団法人 河川情報センター  池内 幸司	a	・コメントなし
概要	IDR4Mを複数の自治体を含む広域的な災害にも適用できるよう、流域一体の避難に関わる災害リスク情報を生成・提供できるシステムに改良するとともに、九州・沖縄ブロックの代表河川流域において実証実験を実施し、広域避難のような相互協力が求められる災害対応の円滑化に資するシステムとして社会実装する。IDR4Mのリスク情報・判断支援情報を民間の事業所に向けて適時データ配信する方法及び制度上の課題を検討する。			

(敬称略)

### 評価の凡例

a: 研究が順調に実施されており、引き続き研究を推進する。

b: コメントに留意の上、引き続き研究を推進する。(コメントあり)

c: 現在までの進捗状況に鑑み、研究目的の達成が困難であるため、研究を終了する。(コメントあり)

# 河川砂防技術研究開発公募 SIP社会実装部門

## 令和5年度採択テーマ 中間評価結果 (2/2)

(中間評価1年目)

テーマ名および概要		提案者名	評価	中間評価コメント
テーマ	ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト 1. アンサンブル予測活用性向上のための予測技術の開発	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター  角 哲也	a	・コメントなし
概要	SIP 第2期で開発した長時間アンサンブル降雨予測を導入し、ダムタイプ別に貯水池運用の高度化を実現するための、①予測技術の開発、②ダム運用マニュアルの検討、③SIP 第2期で試行開始したダム群のルール策定と検証とフィードバック、④SIP 第2期で対象としなかったダム群への展開により、流域全体の治水機能向上とカーボンニュートラルに貢献する水力発電増強への貢献を目指す。 本研究は、このうち①の項目を実施する。			
テーマ	ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト 2. アンサンブル予測活用性向上のための運用マニュアル検討	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター  角 哲也	a	・コメントなし
概要	SIP 第2期で開発した長時間アンサンブル降雨予測を導入し、ダムタイプ別に貯水池運用の高度化を実現するための、①予測技術の開発、②ダム運用マニュアルの検討、③SIP 第2期で試行開始したダム群のルール策定と検証とフィードバック、④SIP 第2期で対象としなかったダム群への展開により、流域全体の治水機能向上とカーボンニュートラルに貢献する水力発電増強への貢献を目指す。 本研究は、このうち②の項目を実施する。			
テーマ	ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト 3. SIP 第2期で試行を開始したダム群のルール策定と検証とフィードバック	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター  角 哲也	a	・コメントなし
概要	SIP 第2期で開発した長時間アンサンブル降雨予測を導入し、ダムタイプ別に貯水池運用の高度化を実現するための、①予測技術の開発、②ダム運用マニュアルの検討、③SIP 第2期で試行開始したダム群のルール策定と検証とフィードバック、④SIP 第2期で対象としなかったダム群への展開により、流域全体の治水機能向上とカーボンニュートラルに貢献する水力発電増強への貢献を目指す。 本研究は、このうち③の項目を実施する。			
テーマ	ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト 4. SIP 第2期で対象としなかったダム群への展開	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター  角 哲也	a	・コメントなし
概要	SIP 第2期で開発した長時間アンサンブル降雨予測を導入し、ダムタイプ別に貯水池運用の高度化を実現するための、①予測技術の開発、②ダム運用マニュアルの検討、③SIP 第2期で試行開始したダム群のルール策定と検証とフィードバック、④SIP 第2期で対象としなかったダム群への展開により、流域全体の治水機能向上とカーボンニュートラルに貢献する水力発電増強への貢献を目指す。 本研究は、このうち④の項目を実施する。			

(敬称略)

### 評価の凡例

a: 研究が順調に実施されており、引き続き研究を推進する。

b: コメントに留意の上、引き続き研究を推進する。(コメントあり)

c: 現在までの進捗状況に鑑み、研究目的の達成が困難であるため、研究を終了する。(コメントあり)